

トラック運送事業者の原価計算 に関する取組み

社団法人 東京都トラック協会

原価意識向上の必要性

- 世界的な景気低迷の影響で、荷動きの鈍化が避けられない情勢となっていますが、不況の時こそ原価意識を強く持ち、車両1台当たりの生産性を高めることが求められます。
- このたび、誰でも簡単に操作できる「武田式運送原価計算システム」が武田ロジスティクス研究所(代表＝武田正治武蔵工業大学名誉教授)により開発されたので、これを活用し、会員事業者各社の生産性向上を通じた経営改善に資することとしました。

武田式運送原価計算システムの概要①

武田式原価計算システムは、中小・小規模事業者でも容易に自社の原価と売上げ(運賃)を比較・計算して日々の収支を自己チェックし、経営の実情を把握することを通じて経営者の意識改革を促すことが目的です。

車両情報	人事情報	日次実績
車両ナンバー 品川 111 あ 1111	固定給 216200 円/月 ?	日時 2009 年 02 月 18 日
車両購入価格 540 万円(税抜)	月割賞与 50300 円/月 ?	走行キロ km
最大積載量 4 トン	月割退職金 9588 円/月 ?	勤務時間 時間
総重量 8 トン	諸手当 30000 円/月 ?	軽油単価 円
車両耐用年数 7 年 ?	法定外福利厚生比率 3.2 % ?	高速道路利用料 円
燃料消費率 5.6 km/l ?	歩合給単価 0 円/km ?	売上げ 円
オイル費係数 1 円/km ?	時間外単価 1500 円/時 ?	
修繕費係数 6.5 円/km ?		
タイヤチューブ費係数 3 円/km ?		
車両保険料 0 円/月 ?	管理情報	
搭乗者保険料 0 円/月 ?	月当たり稼働日数 21.3 日/月 ?	
対人保険料 9000 円/月 ?	一般管理费率 13 % ?	
対物保険料 0 円/月 ?	諸費用 0 円/月 ?	

車両情報として車両購入価格や任意保険料など、人事情報として固定給や諸手当など人件費データ、管理情報として月当たり稼働日数および一般管理费率等をあらかじめ入力しておけば、1日の走行キロ、勤務時間、軽油単価、売上げ(運賃)を入力するだけで、車両毎に日々の収支を把握できます。また、あらかじめ標準的な原価データが用意されているため、簡単にモデル的な計算をすることが可能です。

武田式運送原価計算システムの概要②

毎日この車両は赤字か、黒字かということをご自己チェックして下さい。赤字の場合には、その原因がどこにあるのかを検証し、社内で車両運行の効率化を図ったり、荷主に運賃値上げを要請したりする、きっかけ作りがこのソフトの狙いです。

固定費		変動費		その他			
総原価	30458	固定費	21340	変動費	4957	営業利益	1542
固定費		変動費		その他			
固定的賃金		税金		変動的人件費		諸費用	0
固定給	10150	自動車重量税	88	距離歩合給	0	高速道路利用料	0
賞与	2362	自動車税	115	所定外時間給	0	一般管理費	4160
退職金	450	自動車取得税	98	変動の福利厚生費		売り上げ	32000
諸手当	1408	車両減価償却費		法定厚生福利費	0	利益率	4.8
固定的福利厚生費		車両減価償却費	3428	法定外厚生福利費	0		
法定厚生福利費	2083	保険料		車両維持費			
法定外厚生福利費	460	車両保険料	0	燃料費	2857		
		搭乗者保険料	0	修繕費	1300		
		対人保険料	423	タイヤチューブ費	600		
		対物保険料	0	オイル費	200		
		自賠責保険料	276				

車両情報画面でデータの入力を終え、登録ボタンを押すと、自動的に原価計算画面が開き、その車両の1日の原価の詳細と総原価、営業利益、営業利益率などが瞬時に計算されます。営業利益が赤字の場合は赤字で表示されます。

武田式運送原価計算システムの概要③

本ソフトウェアは、これまで原価計算になじみが薄かった小規模トラック運送事業者のための、いわば原価計算「入門編」として開発されたものです。荷主が提示する「運賃ありき」の世界から脱却し、コンプライアンスを基本とした正当な原価を意識することで、実運送を担うトラック運送業界全体の底上げにつながることを期待されます。

日時	車両No	売り上げ	固定費	変動費	一般管理費	高速道路費	利益
合計		64000	42681	11680	8320	0	1320
20090218	品川111あ1111	32000	21340	4957	4160	0	1542
20090218	品川111い2222	32000	21340	6723	4160	0	-223

原価一覧タブでは、日々入力した車両毎のデータを一定期間内で集計することや、営業所毎の全車両のその日1日の収支を簡単に集計することができます。そして、そのデータは、CSV形式のファイルで保存が可能のため、エクセルを使って本社で一括管理するなど、各社の工夫次第でデータの集計、分析、管理を容易に行うことができます。